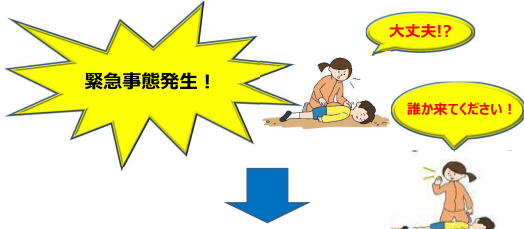


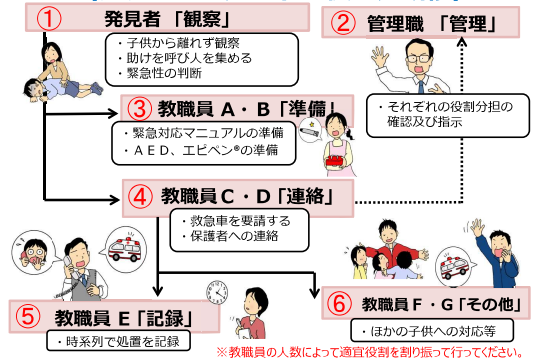
アクションカードを使った研修



アクションカードを配布し、カードに記載された役割を裏面の注意事項を参考にしながら行う。

監修：獨協医科大学小児科学 主任教授 吉原重美

緊急時の対応 (アクションカードを使った研修)



①

発見者「観察」

- 児童生徒等から離れず観察
- 人を集める（助けを呼ぶ）
- 緊急性の判断
- 職員に「準備」「連絡」を依頼
- エピペン®の使用または介助
- 薬の内服確認
- 心肺蘇生・A E Dの使用

★呼びかけに反応がなく呼吸がなければ心肺蘇生
・胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を絶え間なく行う。
★次のひとつでもあればエピペン®を使用する

消化器の症状	・繰り返し吐き続ける	・持続する強い(がまんできない)おなかの痛み
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる	・声がかすれる ・犬が吠えるような咳 ・持続する強い咳込み ・ゼーゼーする呼吸 ・息がしにくい
全身の症状	・唇や爪が青白い	・脈を触れにくい・不規則 ・意識がもうろうとしている ・ぐったりしている ・尿や便を漏らす

日本小児アレルギー学会作成

②

管理職「管理」

それぞれの役割分担の
確認及び指示

- ・発見者（観察・人を集める・エピペン®・心肺蘇生・A E Dの使用等）
- ・準備（緊急対応マニュアル・エピペン®・A E D等の準備）
- ・連絡（救急車の要請、保護者等への連絡等）
- ・記録（時系列で処置を記録）
- ・その他（他の子供への対応等）

③

教職員 A「準備」

- 緊急時対応マニュアルを持ってくる。
- A E Dの準備
- エピペン®の使用または介助
- 心肺蘇生や A E Dの使用

★呼びかけに反応がなく呼吸がなければ心肺蘇生
・胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を絶え間なく行う。
★次のひとつでもあればエピペン®を使用する

消化器の症状	・繰り返し吐き続ける	・持続する強い(がまんできない)おなかの痛み
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる	・声がかすれる ・犬が吠えるような咳 ・持続する強い咳込み ・ゼーゼーする呼吸 ・息がしにくい
全身の症状	・唇や爪が青白い	・脈を触れにくい・不規則 ・意識がもうろうとしている ・ぐったりしている ・尿や便を漏らす

日本小児アレルギー学会作成

③

教職員 B「準備」

- エピペン®の準備
- エピペン®の使用または介助
- 心肺蘇生や A E Dの使用

★呼びかけに反応がなく呼吸がなければ心肺蘇生
・胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を絶え間なく行う。
★次のひとつでもあればエピペン®を使用する

消化器の症状	・繰り返し吐き続ける	・持続する強い(がまんできない)おなかの痛み
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる	・声がかすれる ・犬が吠えるような咳 ・持続する強い咳込み ・ゼーゼーする呼吸 ・息がしにくい
全身の症状	・唇や爪が青白い	・脈を触れにくい・不規則 ・意識がもうろうとしている ・ぐったりしている ・尿や便を漏らす

日本小児アレルギー学会作成

④

教職員C「連絡」

○救急車要請

教職員C

救急要請（119番通報）のポイント



※ 救急隊から、その他の状態確認などのため、電話がかかってくることもある
・通話中に伝えた連絡先の電話番号は、無に帰るようしておく
・必要に応じて、救急隊が到着するまでの応急手当の方法を聞く

文部科学省・（公財）日本学校保健会
東京都：「食物アレルギー緊急対応マニュアル」一部改定し、引用

④

教職員D「連絡」

- 管理職への連絡
- 養護教諭への連絡
- 保護者への連絡
- 栄養教諭等への連絡
- さらに人を集める（校内放送等）

⑤

教職員E「記録」

- 観察を開始した時刻を記録
- 5分ごとに症状を記録
- 時系列で処置を記録
- エピペン®を使用した時刻を記録
- 内服薬を飲んだ時刻を記録

15

記録用紙

時間	症状	対応(何をした)	だれが

16

⑥

教職員F「その他」

○救急車の誘導

⑥

教職員G「その他」

- 他の子供への対応
- エピペン®の使用または介助
- 心肺蘇生・AEDの使用